

公益社団法人 茨城県作業療法士会
平成 29 年度 第 3 回常任理事会 議事録

日時：平成 29 年 11 月 14 日（火） 19：00～22：15

場所：茨城県作業療法士会事務所（水戸市緑町 3-5-35 茨城県保健衛生会館内）

出席：（理事）大場、寺門、小森、大内、武士、荒井、笥、柘植、細田（事務局）開江総務部副部長

書記：開江（総務副部長）

【 I 審議事項】

1. 災害発生時の安否確認について （荒井総務部長）→承認
 - ・平成 30 年 2 月に日本作業療法士会による災害時の安否確認の情報集約（トライアル）を実施予定。当士会としても参加を予定している。
 - ・災害発生時の対応順序としては、避難場所での支援を優先し、その後会員の安否確認を行っていく。
 - ・安否確認集約案としては、事前に各施設単位でメーリングリストに登録して頂き、災害時は、会長→メーリングリスト登録済みの各施設へ安否確認についてのメールを一斉送信→HP 上から被災状況の報告方法の確認（被災状況の確認シートなどの記入）→事務所にメールもしくは FAX にて送信→事務員より各医療圏担当に振り分け→登録より漏れている施設へは CD から各施設へ直接連絡→会長→災害対策本部への連絡を行う。
 - ・メーリングリストの現在の登録数は 100 件程。連絡網・メーリングリストへの登録案内を各施設に次回の郵送物にて送付する。一度登録募集を締め切り、HP 上で登録施設一覧公表する。定期的に登録、更新するように促していく。

2. 平成 30 年度予算案・事業計画の確認 （武士財務部長）→継続審議
 - ・各部局より予算案についての報告があった。
 - ・事務局より収入として会費での収入が 80 万円増。80 名の新規会員、95%の会員からの会費納入を見込んでいる。
 - ・支出として交際費での 10 万円、役員報酬の復活(財務の安定化が図れており、顧問会計士からの指導も入った為（本来あるべき姿で正当な報酬である）)、常任理事会出席者への日当支給、リハケア学会事務局関連への交通費、事務員の時給アップ、自動車運転等への予算 5 万円を計上している。
 - ・削除した項目で未使用に伴い JWBOFFICE を削除している。
 - ・広報局より、総予算は昨年度とほぼ変化がない状況。協賛広告が増える可能性もあり、予算の予備費を計上した方が良いのではないかと？
 - ・教育学術局より、昨年度は予算に比べ実績がやや少ない。今年度を参考に予算を算出した。結果 10 万円ほど総予算が減少している。
 - ・今後は各研修会へ託児所を設置していく方針。託児所設置のために、保育士時給、保険（対物、対人）託児所設置のための物品購入費用等増額となる可能性がある。
 - ・地域貢献局より、現時点で昨年度と大きな変化はない状況。
 - ・まとめとして、公益事業率 50%、各局の事業計画の執行率を 100 に近づけ、遊休財産が増えすぎないように調整をしていく。総予算に対する予備費を設けるかなど、会計社と連絡を取っていく。

3. 各医療圏 CD への財務資料作成について （武士財務部長）→承認
 - ・これまで講師謝礼金の入金については担当 CD によって行われていたが、源泉等の計算においてトラブルが生じる件が生じた為、CD より講師との金銭的なやり取りを財務部でお願いできないかとの訴えがあった。
 - ・現状財務ですべて担うのは難しいところであり今後も CD での管理をお願いしていく。
 - ・今後も同様のトラブルを回避するため、CD の活動マニュアルを作成していく。
 - ・CD の活動を県士会として明確に提示し、ユーザー支援とは何かを再認識する。

- ・財務関係については事業計画、稟議書等をしっかりと上げていただく。企画提出は予算案作成時。事業実施にあたり検討の時間を考えると企画等の変更がある場合は、1ヵ月前までの提出)
- ・理事会、メール等でしっかりと内容を審議してから活動に移っていくようにしていただく。
- ・財務部とCDの間に位置付く協力者、県内に担当者の任命を検討していく。
- ・なお、教育學術局のボランティアポイント付与については知られていない状況にある。ポイントについては各局長の裁量で決定し、OTのボランティア活動としてポイントが付与(士会裁量分で年間2点まで。ユーザー支援、研修会受付等、日当が付く件についてはポイント付与はなし。)される事を周知していく。

【Ⅱ 報告・連絡事項】

1. 中堅者研修会の開催について (柘植実践教育部長)
 - ・日程：2月4日(日)
 - ・定員60名(6名×10グループ)
 - ・急性期、回復期、維持期でそれぞれ活躍している先生方に講義をしていただく予定。
 - ・模擬的なケア会議をしていく形で実施。モデルケースを立てて、それぞれの領域でどう対応しているか、どういう対応を望むかパネルディスカッション形式で検討する。例)在宅からみて急性期の時期に何を望むか等。
 - ・その後、各分野が連携していくにはどうしていくのが良いかをグループワーク形式で検討。
 - ・目的としては地域ケア会議へのOTの積極的な参加、連携を目指していく方向。
 - ・また、2月25日開催予定の地域ケア会議に関する研修についても検討していく。
 - ・地域ケア会議に関する研修会の今後の展望としては地域ケア会議研究会としての継続開催を目指していく。
 - ・広報の仕方についても検討を継続していく。
 - ・中堅者研修とケア会議についての研修は関連させて組み立てていく。
2. 精神障害領域対策委員会について (角田広報局長:荒井総務部長代理報告)
 - ・精神障害領域対策委員会からの研修会開催について報告があった。
 - ・「生活向上マネジメントが精神科にもたらすもの」をテーマに研修会を企画している。
 - ・日程については、平成30年2月3日(土)13:30～。会場については、茨城県立医療大学。
 - ・受講対象は誰でも参加可、参加費無料、定員50名となっている。
 - ・生涯教育基礎ポイント付与可能。
 - ・運営スタッフへの弁当支給も可とする。
3. 自動車運転関連事業の活動状況について (大場会長)
 - ・アンケートの集約が完了し報告書としての形となった。教習所、行政に対して送付していく。
 - ・今後としては、各教習所(35か所)からOTと共に障がい者支援の協力をしてくれる自動車教習所を一つでも指定できることを目標とする。
 - ・最終的な着地点としては、県作業療法士会(機能評価)、県指定自動車教習所協会(実車を使った技能評価)、県警交通部との協同で自動車運転関連の支援を実施することを目指していく。
4. 第10回茨城県作業療法学会進捗状況 (荒井学会長)
 - I. 学会スケジュール
 - ・スケジュールについては、大きな変更なし。
 - ・抄録については、全員より提出していただいた。
 - II. 基調講演
 - ・懇親会について、学会前日の懇親会については場所と時間を調整している。
 - ・中村会長の宿泊場所も同じように調整する。
 - ・居酒屋で開催予定。顧問・理事・実行委員などに出欠の声をかけていく。場所については今後調整していく。
 - III. 演題発表

- ・ 81 演題の登録があり、15 セッションに分け、座長も依頼し概ね決定している。
- ・ 筆頭演者に県士会に入会していない方が存在する。県士会に入会していないと発表ができないため、本人に連絡して入会をして頂く。次年度以降は演題登録の際、県士会員であるか否かの項目も組みこんでもらうよう SE に依頼していく。
- ・ 演題登録者の中には連絡取れないものもいるため、所属を確認して連絡をとる。
- ・ 抄録の再提出がまだない方もいるため、時期をみて提出依頼を行う。
- ・ 自助具・アクティビティコンテストへの新たな募集はない状態であり、演題数が少なく時間が余る際は、認知症の VR 絡みのセッションを入れていく。

IV. ランチョンセミナー

- ・ シンポジストの抄録も提出済み。
- ・ 飲食物の取り扱いについて、保健所への申請は 1 カ月前に実施。

V. 市民公開講座

- ・ 茨城県、茨城県障がい者スポーツ・文化協会、茨城県体育協会に後援依頼。
- ・ 当日は、簡単な資料 (A4・2 枚程度) 配布予定。
- ・ 他の学会において、会員から会費を取っていても県の後援を貰っている所もある。学会自体も茨城県の名義後援をもらえないか確認していく。10 回記念学会でもあり知事に開会式に出てもらうことは可能か問い合わせしていく。

VI. 障害者スポーツ体験

- ・ 橘先生と当日の企画・運営について、問い合わせを行う予定。
- ・ 車いすバスケの車イスは、レクリエーション保険対象外のため、別に保険かける必要あり。車椅子バスケの内容がどこまで行うかで加入保険に違いあるため確認する。
- ・ 謝金については、橘先生は県職員であるため、ボランティアで良いとのこと。運営を手伝ってくれる車いすバスケの指導スタッフに対しては、講師謝金規程の助手扱いにて設定。

VII. 学会機関誌

- ・ 実行委員長を中心に機関誌の構成作業中。
- ・ 機関誌の発送は構成修正を 11 月中旬、発送を 12 月予定。
- ・ 演題システムのエラーの影響か、例年よりも演題ページの作業工程が増大している。現在、分担して構成作業中。今後エラーの状況をまとめ次年度以降 SE に対応してもらう。

VIII. 広告について

- ・ メルマガにて、学会担当医療圏の施設だけでなく、県内の病院・施設に対しても案内を送る予定であったが、募集期間も短く、今回は見送り実行委員の施設を中心に依頼を実施した。

IX. 郵送について

- ・ 学会ポスター・チラシ、市民公開講座ポスター・チラシの郵送を依頼。
- ・ 庶務部より各会員施設に、広報局より関係団体へのポスター・チラシの輸送準備中。チラシは、各約 20,000 部郵送予定。学会・市民公開講座ポスターは、各関係団体へ各約 200 部郵送予定。

X. その他

- ・ 当事者作品展への応募はなし。
- ・ 自助具、アクティビティコンテストは締め切り延長の旨を 11 月の郵送物に入れ込む。
- ・ 託児所について、昨年度は機関誌の掲載案内を見ていない方もおり、本年度は機関誌 1 ページを割いて大きく掲載していく予定。
- ・ 託児所の場所は、当日まで公表しない。前年度は、5 名定員とのことであったが、定員設定は無くし人数に応じて保育士の数を増員する。

次回、第 4 回常任理事会について

平成 30 年 1 月 21 日 (日) 9:00～ 茨城県作業療法士会事務所にて開催予定

議事内容：県学会最終確認、平成 30 年度基本方針 他

以上